

筑波大学大学院説明会

博士前期課程（教育基礎科学SP）

博士後期課程教育学学位プログラム

2021年6月19日（土）

＜オンライン参加者へのお願い＞
本日はお忙しいなかご参加くださり、
誠にありがとうございます！

マイクはミュートに、カメラはオフに設定し
てくださいますようお願いいたします。

はじめに...

<オンライン参加者へのお願い・おことわり>

- ・ マイクはミュートに、カメラはオフに設定してください。
- ・ 説明は日本語で行われます。
- ・ 説明会の様子は記録用に録音・録画いたします。公開はいたしません。
- ・ 全体会のスライドは、後日学位プログラムのウェブサイトにて公開予定です。

タイムスケジュール

【13:20～14:05 全体会】

- 13:20～13:30 教育基礎科学 S P リーダー挨拶
- 13:30～13:40 博士後期課程教育学学位 P の説明
- 13:40～13:50 教育基礎科学 S P の説明
- 13:50～14:00 令和 3 年度入学 10 月実施試験に関する説明
- 14:00～14:05 おわりに



【14:10～15:00 分科会】

- 14:10～15:00 各プログラムのブレイクアウトルームに分かれて、大学院生によるプログラムの紹介ならびに質疑応答

分科会



教育基礎科学SPリーダー挨拶（藤田晃之先生）



後期課程教育学学位プログラムの説明（藤田晃之先生）



前期課程教育基礎科学プログラムの説明（藤田晃之先生）



10月実施入試の説明（遠藤優介先生）



おわりに



教育基礎科学サブプログラムリーダー 挨拶

分科会



教育基礎科学SPリーダー挨拶（藤田晃之先生）



後期課程教育学学位プログラムの説明（藤田晃之先生）



前期課程教育基礎科学プログラムの説明（藤田晃之先生）



10月実施入試の説明（遠藤優介先生）



おわりに

教育学学位プログラム

博士前期課程

博士後期課程

国際教育
サブプログラム

次世代学校教育創成
サブプログラム

教育基礎科学
サブプログラム

学校教育
領域

国語教育
領域

社会科教育
領域

数学教育
領域

理科教育
領域

スクールリーダーシップ
開発分野

英語教育分野

芸術科教育分野

保健体育教育分野

博士後期課程教育学学位プログラム

▶人材養成目的

社会の急激な変化のもと対応を迫られる教育の具体的課題と、地球的視野をもって解決されるべき教育の本質的課題のそれぞれについて、教育学の幅広い学問的知見を基盤としての的確な研究方法をもって追究し、独創的な研究成果を国内外に向けて発信し、政策と実践の改革を国際的に先導することのできる教育学研究者ならびに高度専門職業人を養成することを目的とします。

博士後期課程教育学学位プログラム

教育哲学

日本
教育史

生涯学習・
社会教育学

教育
社会学

教育
制度学

教育
計画論

比較・国
際教育学

学校
経営学

高等
教育論

教育
方法学

道德
教育学

キャリア
教育学

社会科
教育学

人文科
教育学

数学
教育学

理科
教育学

近年の主な学位論文

▶ 博士後期課程教育学学位

- ・ 旧制中学校国語科における文法と作文との関連（人文科教育学、2020）
- ・ 海軍飛行予科練習生の教育史的研究－軍関係教育機関としての制度的位置とその戦後の問題－（日本教育史、2019）
- ・ 1970年代以降のドイツにおける改革教育的な学校改革と授業実践－学校と生活の接続問題をめぐる授業の構成理論－（教育方法学、2019）
- ・ ゴーチ工における芸術教育思想の特質－人間形成論的側面に着目して－（道徳教育学、2019）
- ・ 現代アメリカの貧困地域における市民性教育改革の研究－教室・学校・地域の連関構造の重要性に着目して－（学校経営学、2018）
- ・ 学校数学における証明活動の方法に関する研究－argumentationを視点として－（数学科教育学、2018）



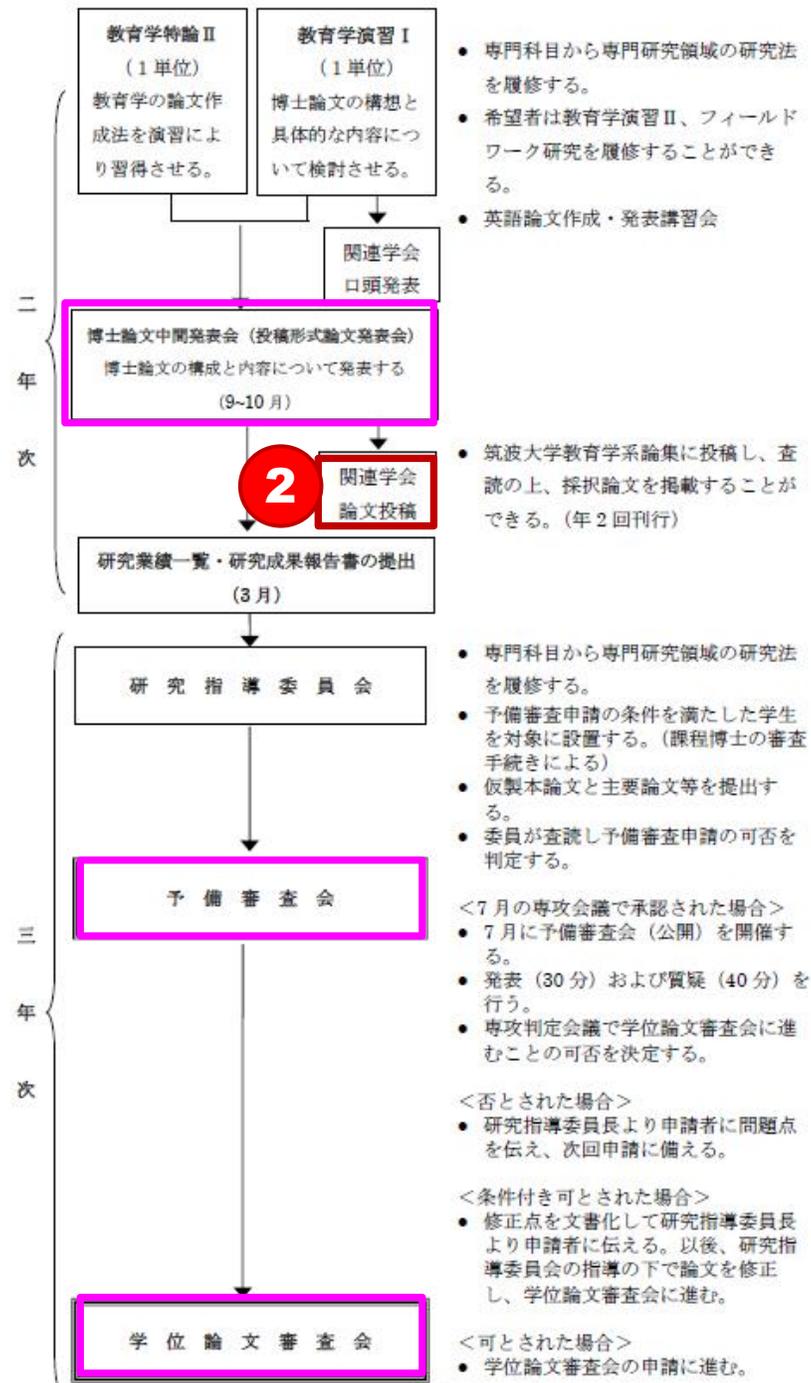
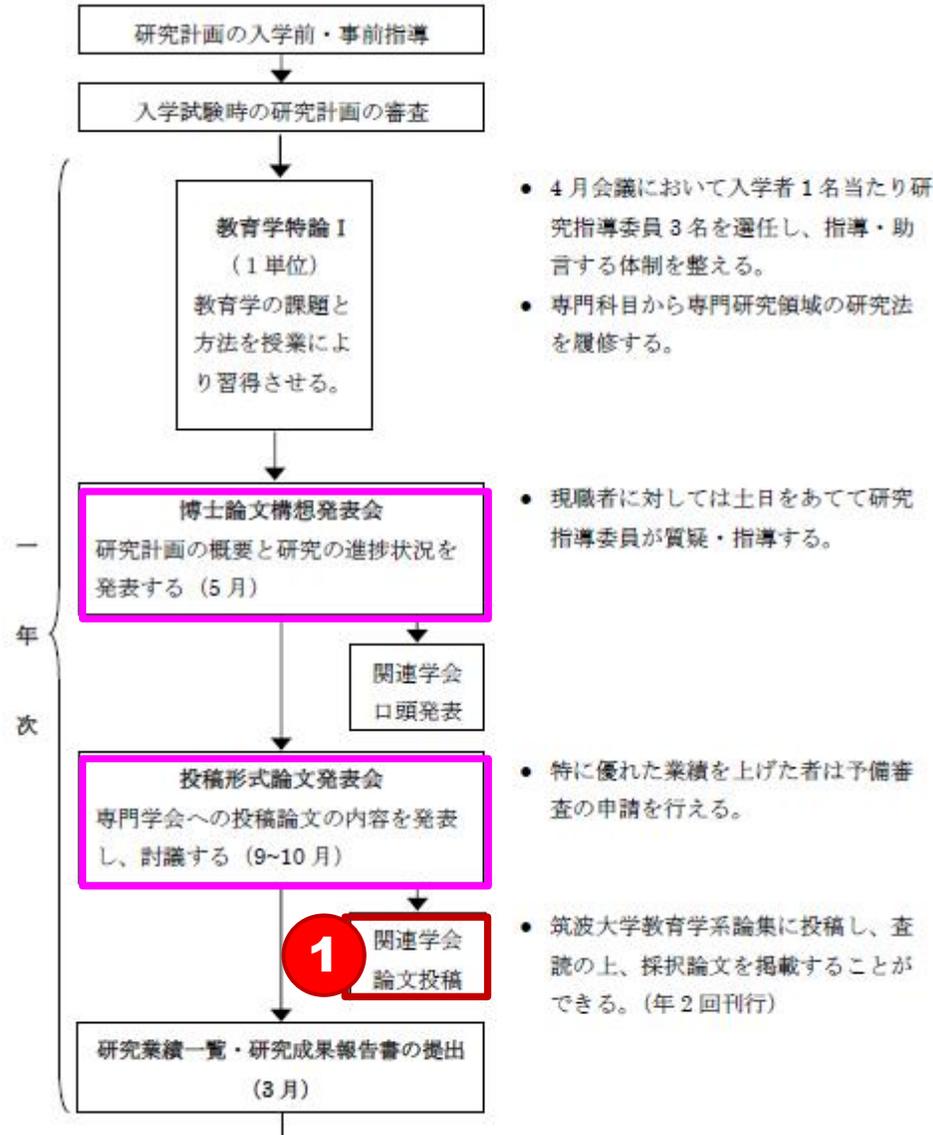
人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 博士後期課程
教育学学位プログラム(D)

科目区分	条件	科目名等	修得単位数
基礎科目	必修	教育学特論Ⅰ(1単位) 教育学特論Ⅱ(1単位)	2
専門基礎科目	選択必修	教育学演習Ⅰ(1単位) 教育学演習Ⅱ(1単位) フィールドワーク研究(1単位)	1
専門科目	選択必修	研究法Ⅰ(3単位) 研究法Ⅱ(3単位) 研究法Ⅲ(3単位)	3
修了単位数			6

(修了要件)

- ・基礎科目を2単位、専門基礎科目を1単位以上、専門科目から専門研究領域の研究法Ⅰ～Ⅲ3単位を履修する。
- ・3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については1年(修士課程早期修了者等にあつては当該課程における在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。
- ・教育会議において教育上有益と認められる場合には、他の学位プログラムの授業科目の履修により修得した単位を修了の要件となる単位として認めることができる。

課程博士の場合の標準的履修モデル



配布資料
p.10~11
【資料4】

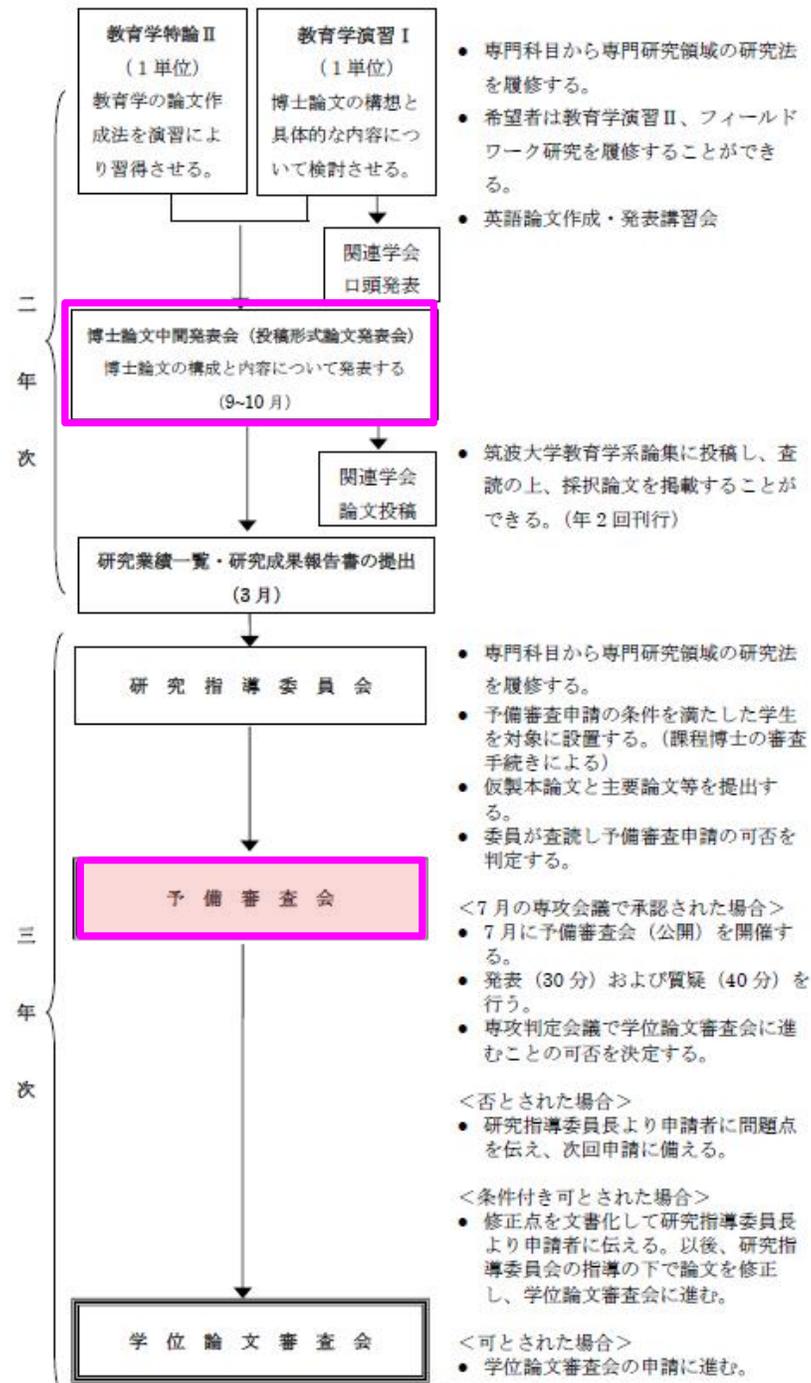
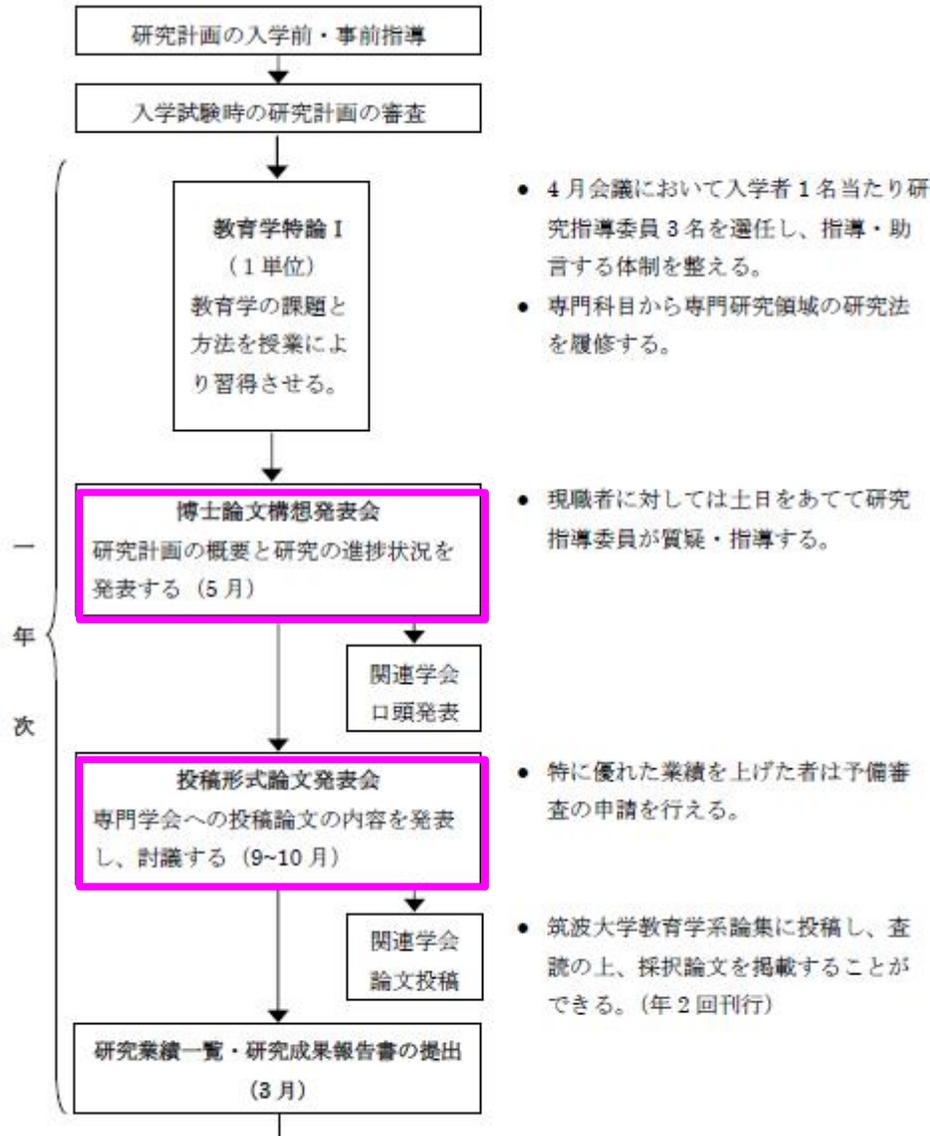
予備審査・本審査の手続き 【課程博士の場合】

令和2年6月9日
教育学学位プログラム運営委員会決定

人間総合科学研究群博士後期課程教育学学位プログラム(以下「学位プログラム」という)における予備審査会開催の条件及び学位申請の条件については、「人間総合科学研究群博士後期課程教育学学位プログラム学位論文審査(課程博士)に関する申合せ」(令和2年6月9日決定)に従う。

1. 学生は、博士論文構想発表会で発表し、指導を受ける。(通常1年次の5月に開催、担当教員全員出席)
2. 学生は、投稿形式論文発表会で発表し、指導を受ける。(通常1年次の10月に開催、担当教員全員出席)
3. 学生は、博士論文中間発表会で発表し、指導を受ける。(通常2年生の10月に開催、担当教員全員出席)
4. 学位プログラムリーダーは、学位プログラム教育会議に研究指導委員会(3~5名、他専攻等の教員を加えることができる)の設置と組織を提案し、議を経て承認を得る。

課程博士の場合の標準的履修モデル



配布資料
p.10~11
【資料4】

令和2年6月9日
教育学学位プログラム運営委員会

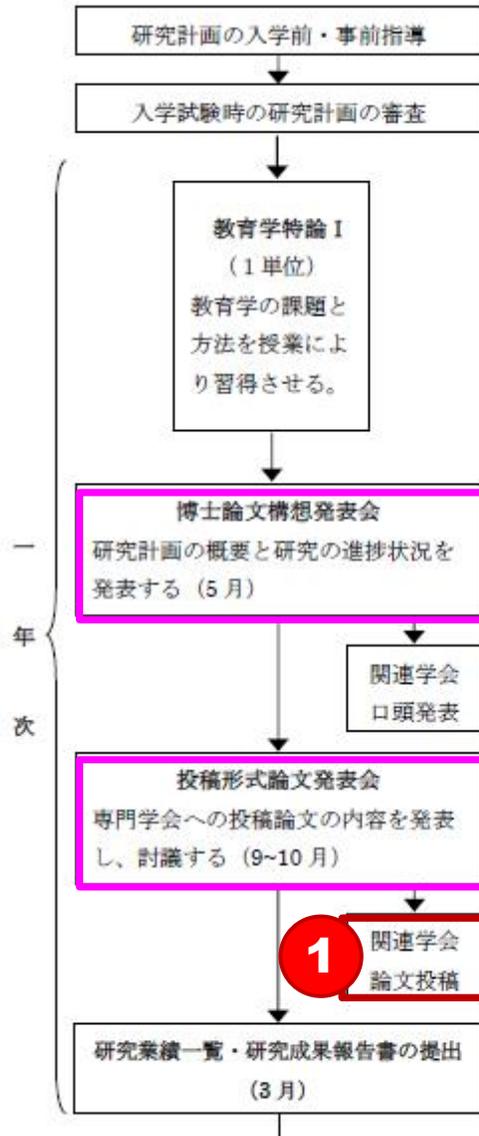
3. 予備審査会開催の条件

- (1) 本学位プログラムが開催する博士論文構想発表会、投稿形式論文発表会、博士論文中間発表会で発表していること。
- (2) 研究指導委員会において予備審査会開催可の判定を受けていること。
- (3) 学位申請予定論文の主要部分が審査付き学術雑誌に論文として1編以上掲載済み、または掲載決定済みであること。ただし、論文とは単著又は筆頭著者であるものとする。
- (4) 学位申請予定論文の草稿を完成させていること。

4. 本審査会開催の条件

- (1) 予備審査に合格(条件付き合格を含む)していること。
- (2) 予備審査会で条件付き合格の場合は、研究指導委員会において学位申請論文提出可の判定を受けていること。
- (3) 学位申請予定論文の主要部分が審査付き学術雑誌に論文として2編以上掲載済み、または掲載決定済みであること。ただし、論文とは単著又は筆頭著者であるものとし、そのうち1編以上は、全国学会誌・国際学術雑誌の論文でなければならない。

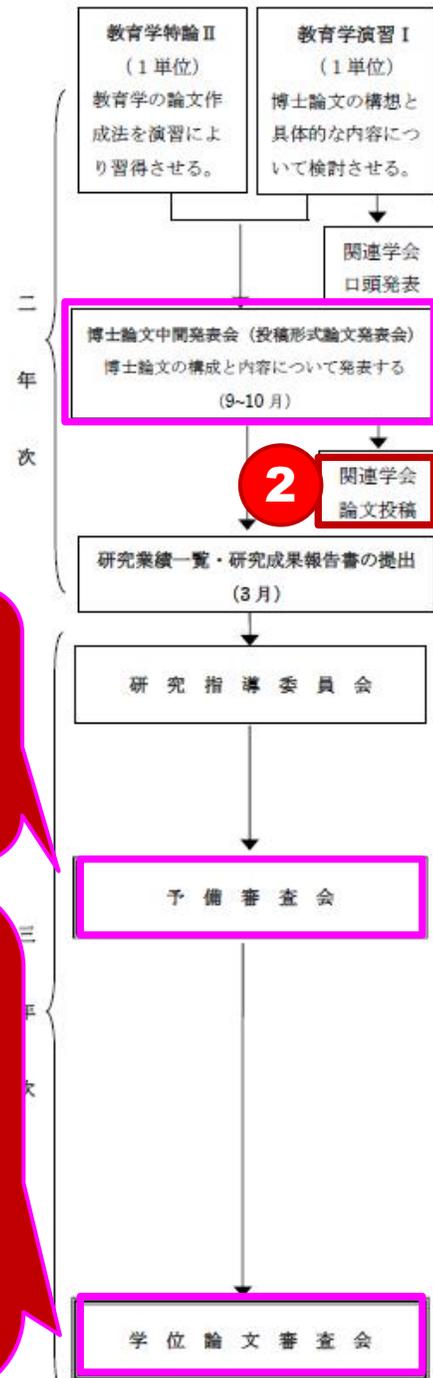
課程博士の場合の標準的履修モデル



- 4月会議において入学者1名当たり研究指導委員3名を選任し、指導・助言する体制を整える。
- 専門科目から専門研究領域の研究法を履修する。

学位申請予定論文の主要部分が審査付き学術雑誌に論文として1編以上掲載済み、または掲載決定済みであること。

学位申請予定論文の主要部分が審査付き学術雑誌に論文として2編以上掲載済み、または掲載決定済みであること。ただし、(中略) そのうち1編以上は、全国学会誌・国際学術雑誌の論文でなければならない。



- 専門科目から専門研究領域の研究法を履修する。
- 希望者は教育学演習II、フィールドワーク研究を履修することができる。
- 英語論文作成・発表講習会

- 筑波大学教育学系論集に投稿し、査読の上、採択論文を掲載することができる。(年2回刊行)

- 専門科目から専門研究領域の研究法を履修する。
- 予備審査申請の条件を満たした学生を対象に設置する。(課程博士の審査手続きによる)
- 仮製本論文と主要論文等を提出する。
- 委員が査読し予備審査申請の可否を判定する。

- <7月の専攻会議で承認された場合>
- 7月に予備審査会(公開)を開催する。
 - 発表(30分)および質疑(40分)を行う。
 - 専攻判定会議で学位論文審査会に進むことの可否を決定する。

- <否とされた場合>
- 研究指導委員長より申請者に問題点を伝え、次回申請に備える。

- <条件付き可とされた場合>
- 修正点を文書化して研究指導委員長より申請者に伝える。以後、研究指導委員会の指導の下で論文を修正し、学位論文審査会に進む。

- <可とされた場合>
- 学位論文審査会の申請に進む。

配布資料
p.10~11
【資料4】

分科会



教育基礎科学SPリーダー挨拶（藤田晃之先生）



後期課程教育学学位プログラムの説明（藤田晃之先生）



前期課程教育基礎科学プログラムの説明（藤田晃之先生）



10月実施入試の説明（遠藤優介先生）



おわりに

教育基礎科学サブプログラム

教育学研究科（5年一貫制博士課程）

2001年度

人間総合科学研究科

教育学専攻
（博士前期課程）

人間総合科学研究科

教育基礎学専攻
学校教育学専攻

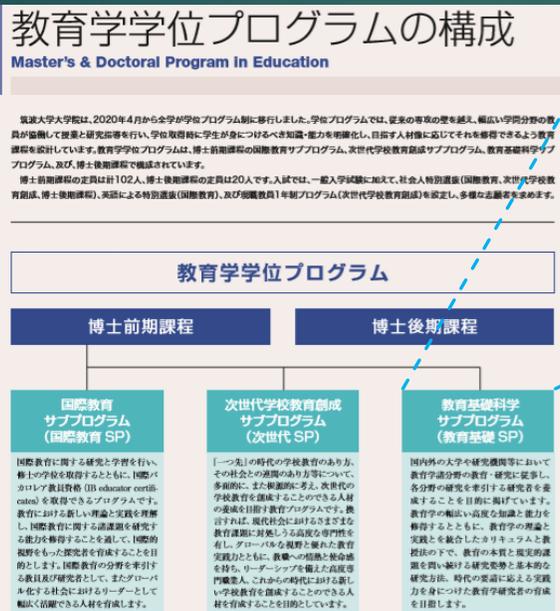
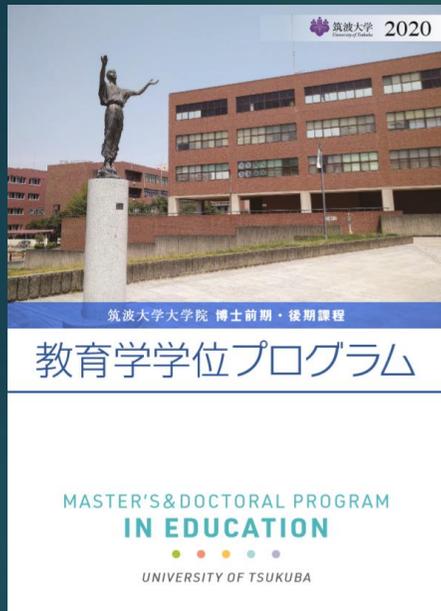
ヒューマン・ケア科学専攻共生教育学分野
（博士後期課程）

2020年度

教育基礎科学
サブプログラム
（博士前期課程）

教育学学位プログラム
（博士後期課程）

教育基礎科学サブプログラム



教育基礎科学サブプログラム (教育基礎 SP)

国内外の大学や研究機関等において教育学諸分野の教育・研究に従事し、各分野の研究を牽引する研究者を養成することを目的に掲げています。教育学の幅広い高度な知識と能力を修得するとともに、教育学の理論と実践とを統合したカリキュラムと教授法の下で、教育の本質と現実的課題を問い続ける研究姿勢と基本的な研究方法、時代の要請に応える実践力を身につけた教育学研究者の育成を目指します。

本サブプログラムのアピールポイント

国際的な視野をもつ研究者の育成

東北師範大学（中国）、華東師範大学（中国）、北京師範大学（中国）、モスクワ市立教育大学（ロシア）の各大学院とは継続的な交流の実績があり、国際交流の対象となる大学院は今後増えていくことが予定されている。さらに、東北師範大学と前身の教育学専攻が2016年にダブルディグリー・プログラムの協定を締結し、2017年度から運用を開始している。

Online International Student Conference

Education in a Time of Pandemic Through the Eyes of Graduate Students: Challenges and Perspectives

Dates: March 18-19, 2021

Venue: Zoom conference

Organizer:

Degree Programs in Education
Graduate School of Comprehensive Human Sciences,
University of Tsukuba, Japan

Supporter:

Center for Research on International Cooperation in
Educational Development (CRICED)
University of Tsukuba, Japan

Online International Student Conference "Education in a Time of Pandemic Through the Eyes of Graduate Students: Challenges and Perspectives"

Contents

- I. Foreword by prof. Yoshiyasu Ida (Leader of Degree Programs in Education, Graduate School of Comprehensive Human Sciences, University of Tsukuba)
- II. Programme of the conference
- III. Abstracts
 1. Khon Kaen University (Thailand)
 2. Korea National University of Education (South Korea)
 3. Northeast Normal University (China)
 4. University of Tsukuba (Japan)
 5. Kazakh National Pedagogical University (Kazakhstan)
 6. Moscow City University (Russia)
 7. Pedagogical University of Krakow (Poland)
 8. Lecture by prof. Hiroshi Sato (Leader of Subprogram in International Education, Degree Programs in Education, University of Tsukuba)
- IV. Afterword by prof. Teruyuki Fujita (Leader, Subprogram in Education Sciences, Degree Programs in Education, University of Tsukuba)
- V. List of participants

Online Research Exchange Program

—未来の教育における発展と挑戦—

主催：筑波大学教育学学位プログラム 華東師範大学教育学部

日時：2021年6月16日（水）10:00～16:30

10:00 開会

10:05～10:50 基調講演 藤田晃之（人間系教授）

The Challenges and Opportunities for the Japanese Schools Lagging Behind in the Age of Digital Technology: Can a Post-Pandemic Rollback be Accomplished?

10:50～11:10 院生研究発表 吉川実希（博士後期課程教育学学位プログラム）

Career Guidance System for Early School Leavers

11:10～11:30 院生研究発表 田邊怜（博士前期課程教育基礎科学プログラム）

Dealing with Social and Political Controversial Issues in Social Studies Class: The Role of "Open Classroom Climate" in Deliberation

11:30～11:50 院生研究発表 马好（华东师范大学博士生）

Current Situation, Problems and Countermeasures of Digital Campus Governance in Primary and Middle Schools

11:50～12:10 院生研究発表 沈王琦（华东师范大学硕士生）

Research on the Learning Behavior Patterns of Beginners in cMOOC: From the Perspective of Connectivism

12:10～12:30 両大学教員からのコメント

— 休 憩 —

14:00～14:45 基調講演 孙妍妍（华东师范大学教育学部副教授）

Rethinking the role of technology in education for a post-pandemic future: challenges and opportunities

14:45～15:05 院生研究発表 时慧（华东师范大学硕士生）

What's a Well-developed E-learning System Looks Like? Focusing on E-learners' Satisfaction, Online Classroom Community, and Rural-urban Disparity

15:05～15:25 院生研究発表 邱燕楠（华东师范大学硕士生）

"Breakthrough Point" and "Growth Point" of Cultivating Teachers' Evaluation Competence in the Intelligent Age

15:25～15:45 院生研究発表 陳鑫（博士後期課程教育学学位プログラム）

A Comparative Study on Teacher's Manual of The Analects of Confucius at the junior high school level in China and Japan

15:45～16:05 院生研究発表 大倉百理子（博士前期課程国際教育プログラム）

Teachers' Approaches to Support Cultural and Linguistic Diversities among Children in Primary Schools: Focusing on the Addressing of Cultural Differences to Create Classrooms that Appreciate Individual Differences

16:05～16:30 両大学教員からのコメント（閉会）

申し込みメチ

6月15日(火)

18:00迄

参加申込：下記リンクまたはQRコードからご登録ください

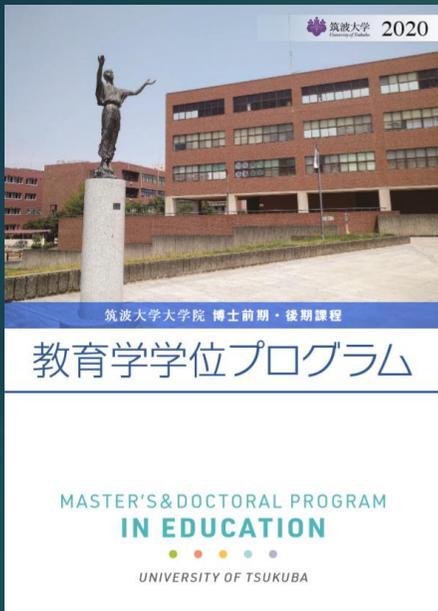
Register (as viewer) by the following link or QR code →

<https://forms.gle/PhP9sRVcl3TVzHR79>

Deadline for application June 15th, 2021 (Tue.) 18:00



教育基礎科学サブプログラム



教育学学位プログラムの構成

Master's & Doctoral Program In Education

筑波大学大学院は、2020年4月から全学が学位プログラム制に移行しました。学位プログラムでは、従来の専攻の壁を越え、幅広い学際分野の教育者が活躍して授業と研究指導を行い、学位取得者に学生が身につけるべき知識・能力を明確化し、自ら学べる人材像に応じてそれを修得できるような教育課程を設計しています。教育学学位プログラムは、博士前期課程の国際教育サブプログラム、次世代学校教育創成サブプログラム、教育基礎科学サブプログラム、及び、博士後期課程で構成されています。

博士前期課程の定員は計102人、博士後期課程の定員は20人です。入試では、一般入試試験に加えて、社会人特別選抜（国際教育、次世代学校教育創成）、博士後期課程、英語による特別選抜（国際教育）、及び初年度1年制プログラム（次世代学校教育創成）を設定し、多様な志願者をめざします。



教育基礎科学サブプログラム (教育基礎 SP)

国内外の大学や研究機関等において教育学諸分野の教育・研究に従事し、各分野の研究を牽引する研究者を養成することを目的に掲げています。教育学の幅広い高度な知識と能力を修得するとともに、教育学の理論と実践とを統合したカリキュラムと教授法の下で、教育の本質と現実的課題を問い続ける研究姿勢と基本的な研究方法、時代の要請に応える実践力を身につけた教育学研究者の育成を目指します。

本サブプログラムの
アピールポイント
国際的な視野をもつ
研究者の育成

東北師範大学（中国）、華東師範大学（中国）、北京師範大学（中国）、モスクワ市立教育大学（ロシア）の各大学院とは継続的な交流の実績があり、国際交流の対象となる大学院は今後増えていくことが予定されている。さらに、東北師範大学と前身の教育学専攻が2016年にダブルディグリー・プログラムの協定を締結し、2017年度から運用を開始している。

教育基礎科学サブプログラム

教育哲学

日本
教育史

生涯学習・
社会教育学

教育
制度学

比較・
国際教育学

学校
経営学

教育
社会学

高等
教育論

教育
方法学

道徳
教育学

キャリア
教育学

社会科
教育学

人文学
教育学

数学
教育学

理科
教育学

外国語
教育学

教育
臨床学

特別
活動学

研究テーマ例

▶ 教育基礎科学サブプログラム

- イギリスのインクルーシブ教育における通常学校の条件整備に係る立法過程の分析
- 多文化共生社会における外国人労働者の教育に関する研究
- 新型コロナウイルス感染症を契機にした高齢者教育の展開に関する研究
- 卒業生の母校支援活動が大学にもたらす影響
- 中日の中学校の古典学習における意欲の向上についての比較研究
- 韓国中学校におけるキャリア教育の推進体制
- サービス・ラーニングにおけるパートナーシップに関する研究
- 韓国の初等学校における歴史学習と歴史系博物館の関係に関する研究
- 地域住民の学校参加に関する研究

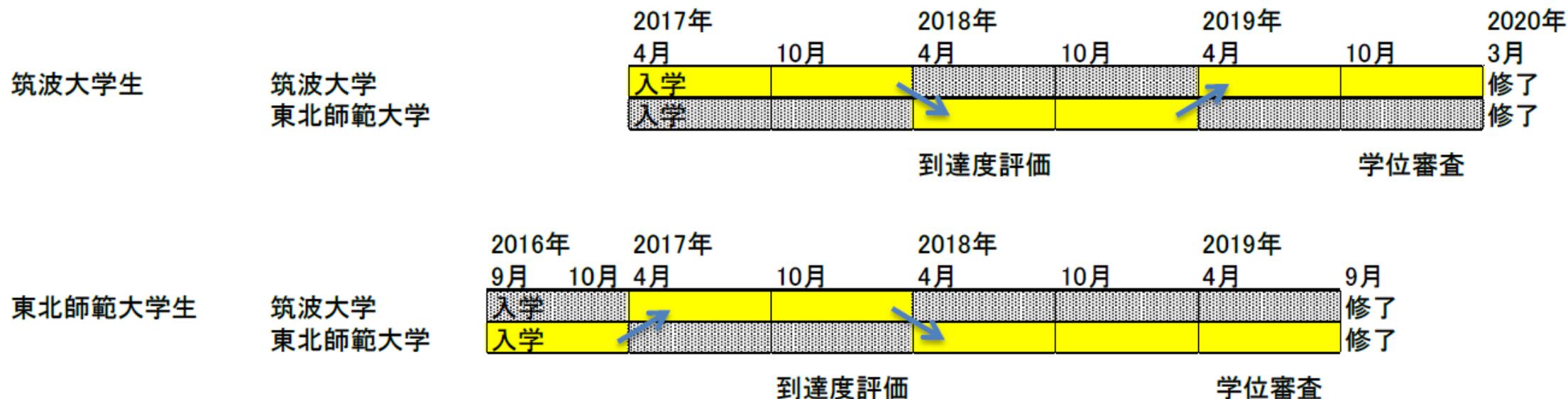
東北師範大学とのダブルディグリー・プログラムについて

平成 29 年度から東北師範大学との間でダブルディグリー・プログラムを開始している。
交換学生数は各大学 3 名を上限とし、受け入れ側の大学で 1 年間修学する。

筑波大学生の場合、このプログラムに参加して修了要件を満たすことで筑波大学から授与される修士（教育学）に加えて、東北師範大学から修士（文学）、修士（法学）、修士（教育学）のいずれかを授与される。

前期課程配布資料p.12【資料4】

ダブルディグリー・プログラムの学事暦



取得できる資格

- ▶ **小学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状（全教科）、高等学校教諭専修免許状（全教科）、養護教諭専修免許状、栄養教諭専修免許状など**
- ▶ 資格取得に際しては、既に取得している免許状や既定の単位修得、試験合格等の条件が課されている場合があります。
- ▶ 教員免許（専修免許）の取得については、「教育職員免許状の取得について（2020年度以降入学者用）」をご参照ください。
<https://www.tsukuba.ac.jp/education/g-courses-handbook/2021/pdf/02-tsukuba.pdf>

長期履修制度

- ▶ 学位プログラム（前期・後期）では、**職業等に従事しながら学習を希望する人々**（職業を有する者のほか、育児をする者、介護をする者を含みます）に対して、**長期履修制度を導入**しています。
- ▶ 長期履修制度を希望する者は、入学手続き書類に同封されている内容をよく確認し、学位プログラムの責任者等と必ず事前に相談の上、**申請様式を記入し、締切日までに提出**します。個別審査の上、その計画的な履修を認めることとなります。
- ▶ 長期履修制度の概要や必要な書類は以下を確認してください。
<https://www.chs.tsukuba.ac.jp/714/>

分科会



教育基礎科学SPリーダー挨拶（藤田晃之先生）



後期課程教育学学位プログラムの説明（藤田晃之先生）



前期課程教育基礎科学プログラムの説明（藤田晃之先生）



10月実施入試の説明（遠藤優介先生）



おわりに

2022（令和4）年度入学 大学院入試日程（10月実施）

課程・サブプログラム		出願期間	入試日程
博士前期課程	教育基礎科学 サブプログラム	9月1日(水)12時～ 9月17日(金)15時	2021年 10月14日（木） 10月15日（金）
博士後期課程	教育学 学位プログラム	9月1日(水)12時～ 9月17日(金)15時	2021年 10月15日（金）

※最新の情報は、必ず募集要項サイトをご確認ください。

入試区分

課程・サブプログラム		入試区分	定員
博士前期課程	教育基礎科学 サブプログラム	一般入試	12名
博士後期課程	教育学 学位プログラム	一般入試	12名
		社会人特別選抜	4名

※最新の情報は、必ず募集要項サイトをご確認ください。

試験科目等（教育基礎科学サブプログラム）

10月実施【一般入学試験】

10月実施		10月14日（木）		10月15日（金）
科目（配点）		外国語（200点）	専門科目（200点）	口述試験（200点）
学位プログラム	時間	10：00～12：00	13：30～15：30	10：00～
教育学学位プログラム 教育基礎科学 サブプログラム		英語 ただし、外国人留学生は英語 及び日本語を時間内で同時に 実施する。（英語・日本語と もに、辞書の使用は不可）	教育学に関する小 論文	出願時に提出した 研究計画書をもと に行う。 試験は個別に実施 する。 （注1参照）

（注）

- 1.口述試験はすべて日本語で実施し、各自5分以内の発表後、質疑応答を行います。
- 2.出願書類提出に先立ち、指導を希望する教員と事前に必ず連絡をとってください。
- 3.研究分野に関してのお問い合わせ先は、029-853-6745です。

※最新の情報は、必ず募集要項サイトをご確認ください。

試験科目等（博士後期課程）

10月実施【一般入学試験】

※最新の情報は、必ず募集要項サイトをご確認ください。

10月実施	10月15日（金）
科目（配点）	口述試験（100点）
教育学学位プログラム 博士後期課程	個別面接 教育学に関する専門的事項および出願時に提出した論文（修士論文等）・研究計画書について、口頭試問を行う。（注4参照）

（注）

1. 口述試験は、日本語または英語で行います。
2. [出願にあたって志願者は必ず志望する専門研究領域の教員と事前に連絡を取ってください。](#)
3. 教育学学位プログラムは以下のような専門研究領域から構成されます。
教育哲学、日本教育史、生涯学習・社会教育学、教育社会学、教育制度学、教育計画論、比較・国際教育学、学校経営学、高等教育論、教育方法学、道德教育学、キャリア教育学、社会科教育学、人文学教育学、数学教育学、理科教育学
4. 配点は、提出された「論文（修士論文等）」（100点）を加え、計200点満点とします。
5. 研究計画書（日本語2000字以内 又は 英語900words以内、A4判（縦置き、横書き、片面印刷）2枚以内）には、①研究題目、志望する専門研究領域、志望する指導教員、②研究目的、③研究内容、④研究方法および計画（3カ年）、⑤先行研究から見た研究の特色および意義、⑥文献リストの各項目について、「論文（修士論文等）」の成果と関連づけて記述し提出してください。なお、⑥文献リストは日本語2000字以内 又は 英語900words以内に含みませんが本文に挙げた文献のみとし、①～⑥を含む研究計画書全体で2枚以内に収めてください。

出願資格審査

- ▶ 次のいずれかに該当する場合は、出願資格審査が必要
 - ・ 短期大学又は高等学校を卒業した者
 - ・ 専門学校又は各種学校を卒業した者
 - ・ 16年に満たない学校教育制度の外国の大学を卒業した者
 - ・ その他

※最新の情報は、必ず募集要項サイトをご確認ください。

過去の入試問題の公開について

- ▶ 過去3年分の入試問題を学位プログラムウェブサイトに掲載しています。
- ▶ 教育基礎科学サブプログラムの過去の入試問題については、前組織の人間総合科学研究科教育学専攻の過去問題をダウンロードできます。

その他（下記の点にご留意ください）

◎ 教員とのコンタクト

出願前に指導を志望する教員に連絡を取ることが求められていますので、**教育基礎科学SP・博士後期課程を希望する方**は、必ず、事前に連絡を取ってください。

◎ 研究室訪問

研究室訪問については、大学のコロナウィルス対応の方針を踏まえ、各教員の指示に従ってください。

ご注意ください

◎ web上で公開している募集要項をよく読んで、日程や出願書類にミスのないようにしてください。

分科会



教育基礎科学SPリーダー挨拶（藤田晃之先生）



後期課程教育学学位プログラムの説明（藤田晃之先生）



前期課程教育基礎科学プログラムの説明（藤田晃之先生）



10月実施入試の説明（遠藤優介先生）



おわりに

おわりに...

▶パンフレットの請求について

パンフレットは、学位プログラムのウェブサイトにて公開しています。

(https://www.education.tsukuba.ac.jp/edu-mp/adinfo_edump/)

郵送による送付をご希望の方は、封筒に「資料請求申込書在中」と明記の上、以下の二点をお送りください。

1. 資料請求申込書（学位プログラムウェブサイトよりダウンロードできます）
または郵便番号、住所、氏名、電話番号と請求する資料の部数を記載したメモ
2. 返信用の角形2号封筒（宛先明記の上、215円切手を貼付）

宛先➡

〒305-8572

茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学教育学学位プログラム広報担当（人間系・教育学域内）

▶入試説明会后、アンケートにご協力お願いいたします。